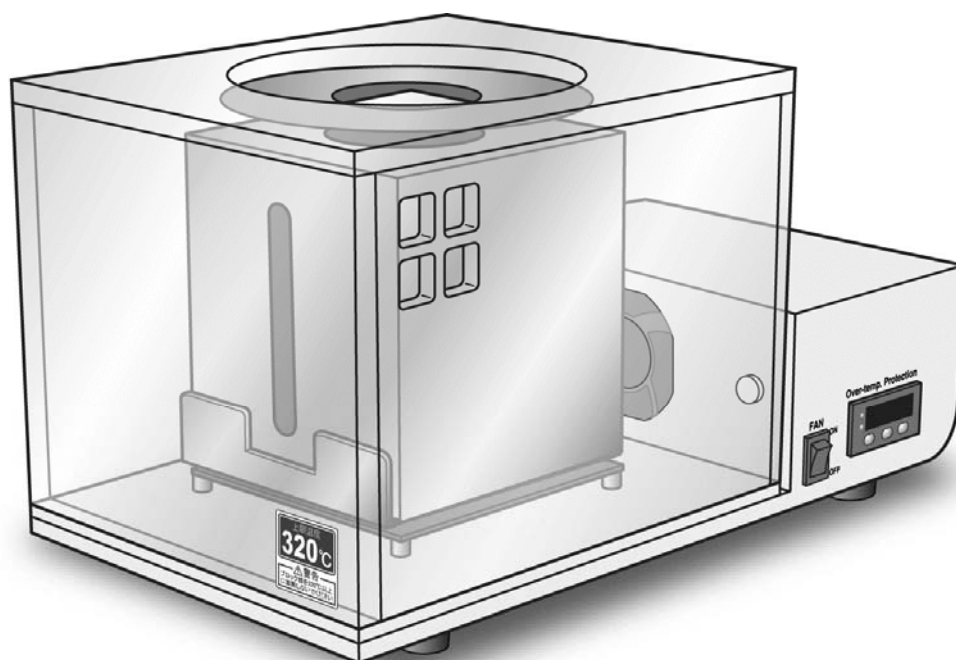


200mL ブロック部 300℃仕様 CP-300 用  
1L ブロック部 300℃仕様 CP-300 用

## 取扱説明書



このたびは、当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

- この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を記載しています。
- ご使用前にこの取扱説明書と添付の保証書を最後までお読みの上、安全に正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも取り出せる場所に保証書とともに大切に保管してください。



# 目次

<b>1</b>	<b>安全上のご注意</b> .....	<b>4</b>
<b>2</b>	<b>ご使用前に</b> .....	<b>5</b>
	2-1 この取扱説明書について .....	5
	2-2 ブロック部の上限温度について .....	6
	2-3 内容物について.....	7
	2-4 ブロック部 300℃仕様を使う場合に必要なもの .....	8
	2-5 本製品について.....	9
	2-6 各部の名称と働き .....	10
<b>3</b>	<b>使用方法</b> .....	<b>12</b>
	3-1 準備 .....	12
	3-1-1 温度設定範囲の変更.....	12
	3-1-2 上下限温度異常警報の変更.....	14
	3-1-3 台座の取り付け.....	15
	3-1-4 120mL 容器または 500mL 容器を使用する場合 .....	16
	3-1-5 市販の過昇温防止装置の取り付け.....	18
	3-2 各機能 .....	20
	3-2-1 過昇温防止器.....	20
	3-2-2 送風ファン .....	22
	3-3 運転.....	23
	3-3-1 操作方法.....	23
	3-3-2 使用時の注意事項 .....	23
<b>4</b>	<b>故障かな？と思ったら</b> .....	<b>24</b>
<b>5</b>	<b>主な仕様</b> .....	<b>25</b>
<b>6</b>	<b>オプション品と関連製品</b> .....	<b>26</b>
<b>7</b>	<b>保証書と修理について</b> .....	<b>27</b>
	7-1 保証書について.....	27
	7-2 保証期間内の修理は.....	27
	7-3 保証期間終了後の修理は .....	27
<b>8</b>	<b>お問い合わせは</b> .....	<b>27</b>

# 1 安全上のご注意



---

この取扱説明書に示す警告・注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

いずれも安全に関する重要な事項ですので、ご使用前によく読んで内容を理解し、必ずお守りください。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる程度を「警告」「注意」の2つに区分しています。安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

## 危害・損害の程度とその表示

 <b>警告</b>	この表示を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示しています。
 <b>注意</b>	この表示を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定されること、また物的傷害の発生が想定されることを示しています。

## 2 ご使用の前に



- 本製品を使用する前に、必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は、手近な場所に大切に保管し、いつでも取り出せるようにしてください。
- 本書の安全に関する指示は、内容をご理解のうえ、必ず従ってください。
- 製品本来の使用法および取扱説明書に記載の使用法をお守りください。

以上の指示を必ず厳守してください。

指示に従わない場合は、ケガや事故の恐れがあります。

### 2-1 この取扱説明書について

- 取扱説明書の内容は、製品の改良などにより予告なく変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれがあった場合は、お手数ですが、当社までご連絡ください。
- 本書の著作権は柴田科学株式会社に帰属します。本書の一部または全部を、柴田科学株式会社からの書面による事前の承諾を得ることなく複写複製(コピー)・転載・改変することを禁じます。

この取扱説明書は、「200mL/1L ブロック部 300°C仕様」の固有の機能についてのみ記載しています。

有機合成装置本体 Chemi Chemi-300 の使用方法や、標準のブロック部(200°C仕様)との共通事項についてはこの取扱説明書に記載していませんので、「有機合成装置本体 Chemi Chemi-300」に付属している取扱説明書も併せてお読みください。

## 2-2 ブロック部の上限温度について

### **重要** (必ずお守りください)

ブロック部は、その構造や使用している材質によって、加熱できる上限温度が決まっています。上限温度を超える温度で加熱すると装置の変形や破損、場合によっては火災などの原因となることがあります。

ブロック部の上限温度は、セーフティーカバー正面、及びカバー後方の筐体上面に貼ってあるマークで確認することができます。

ご使用前に上限温度を確認し、必ず上限温度以下でご使用ください。

#### <上限温度マークの例>



マークの色：赤

上限温度 320°Cマーク



マークの色：緑

上限温度 200°Cマーク

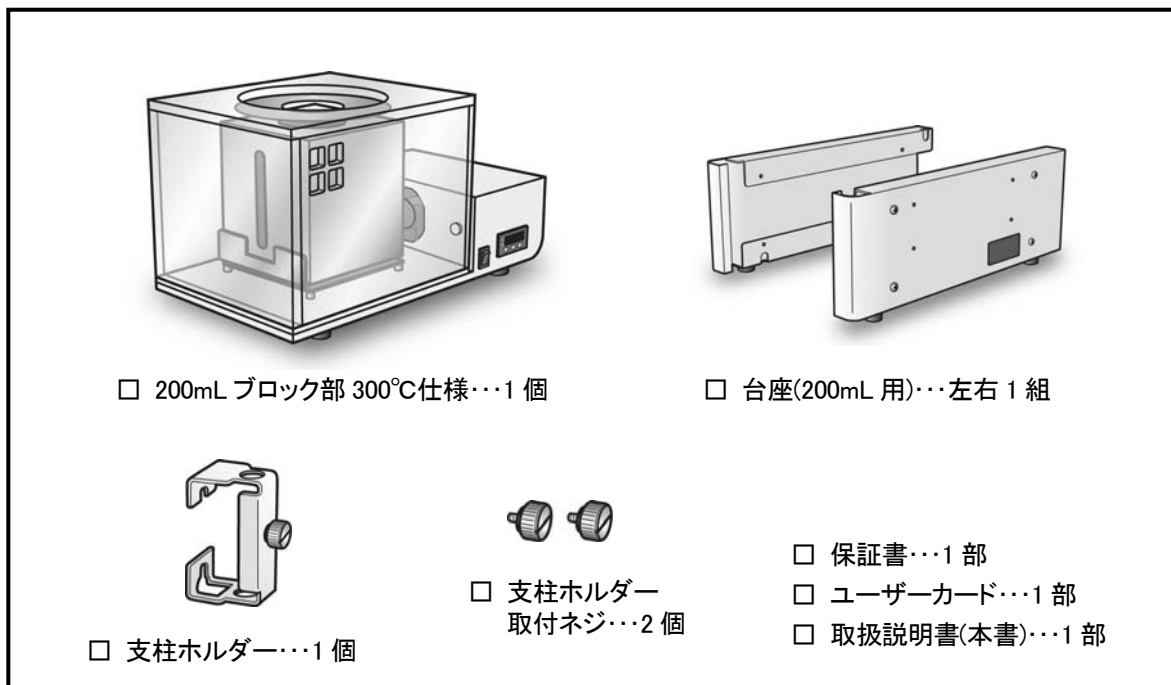
本製品の上限温度※は **320°C** です。

※設定温度の上限温度です。

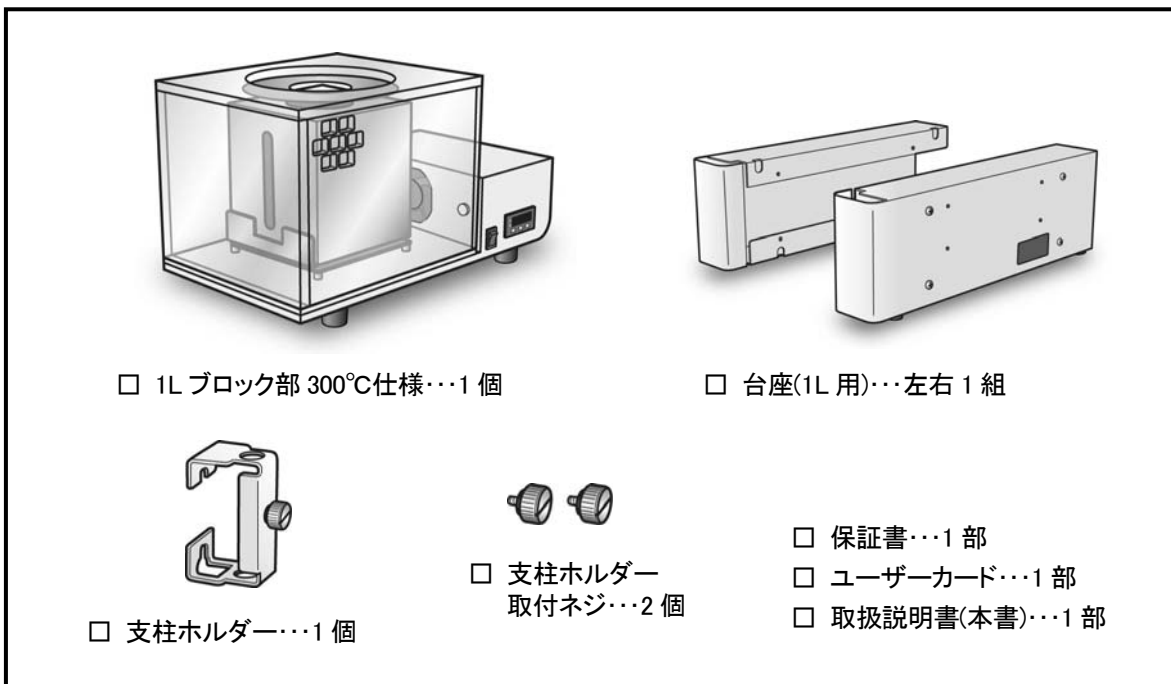
## 2-3 内容物について

ご使用前に、内容物を確認してください。

### ■ 200mL ブロック部 300°C仕様 CP-300 用 (054300-3500)



### ■ 1L ブロック部 300°C仕様 CP-300 用 (054300-3510)



内容物に破損もしくは欠品があった場合は、お買い上げ販売店、または当社営業所までご連絡ください。

## 2-4 ブロック部 300℃仕様を使う場合に必要なもの

### ■ オリング パーフロ 300℃仕様 (054310-3601~3604)

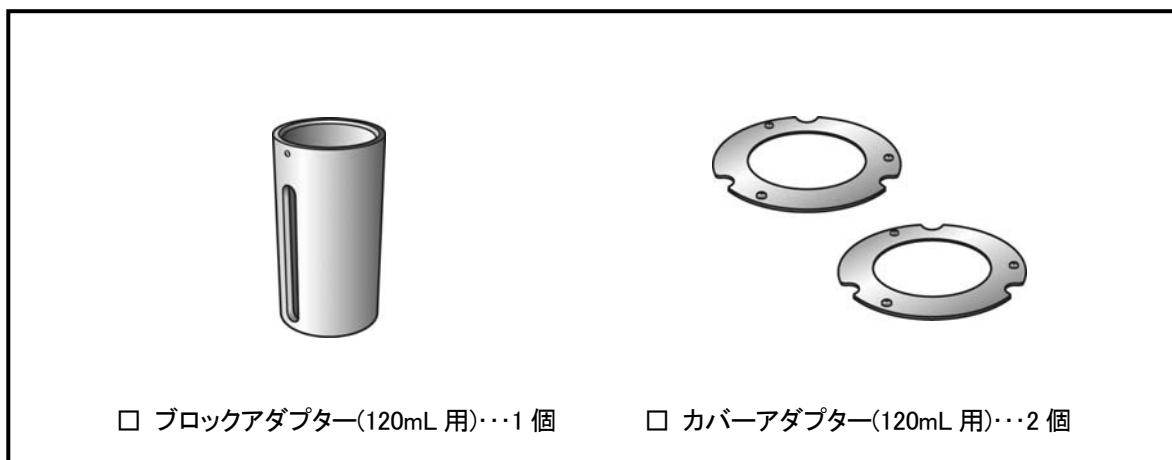
使用するセパラルフラスコに合ったサイズを別途ご購入ください。

→ 26 ページ

※300℃仕様のオリングと 200℃仕様のオリングは外見では区別が付きませんのでご注意ください。

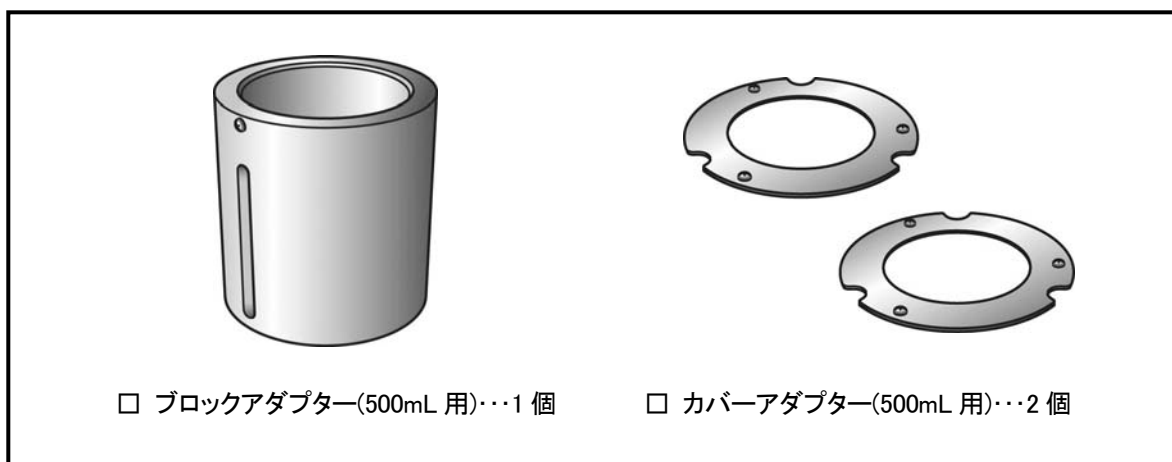
### ■ 加熱ブロックアダプター 300℃仕様 120mL 用 (054310-3300)

300℃仕様で 120mL 容器を使用する場合、別途ご購入ください。



### ■ 加熱ブロックアダプター 300℃仕様 500mL 用 (054310-3310)

300℃仕様で 500mL 容器を使用する場合、別途ご購入ください。





## 2-5 本製品について

---

本製品は有機合成装置 CP-300 用のブロック部です。有機合成装置本体 Chemi Chemi-300 に接続して使用することができます。

### <主な特徴>

#### 300°Cに対応

加熱ブロックの温度を 320°Cまで設定することができますので、ガラス反応容器内を 300°C 前後まで加熱することができます。

※条件によってはガラス反応容器内の温度が 300°Cまで上がらない場合があります。

#### 過昇温防止器を内蔵

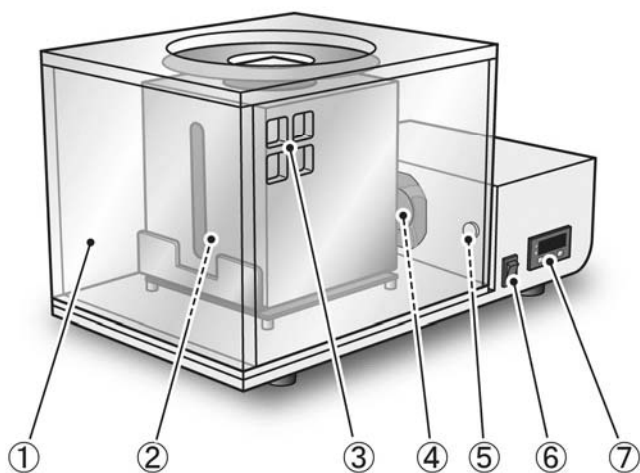
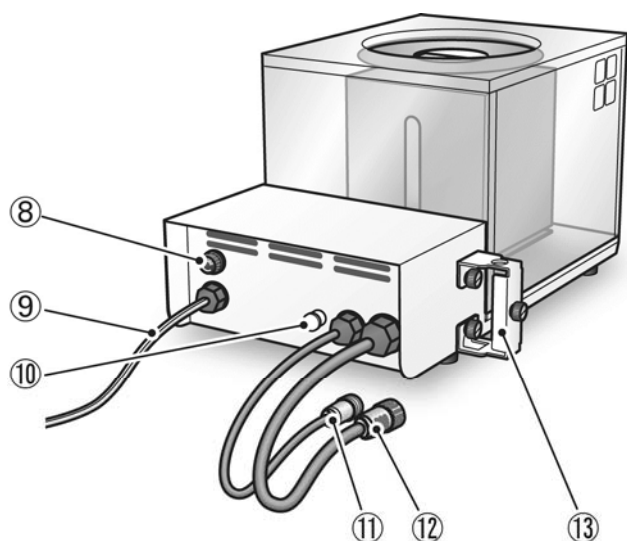
ブロック温度制御回路とは独立した過昇温防止器を内蔵しています。過昇温発生時にリレーの接点が開きますので、物理的にヒーターへの通電を遮断することができます。有機合成装置本体の上下限温度異常警報機能と合せて二重の安全対策とすることができます。

#### 送風ファンを搭載

セーフティーカバー内の熱を排気するための送風ファンを搭載しています。実験終了後や次の実験に移る際に、加熱ブロックの温度を自然冷却時に比べ早く下げることができます。

## 2-6 各部の名称と働き

---



※イラストは 200mL 用です。1L 用も各部の名称と働きは同じです。

### ①セーフティーカバー

ポリカーボネート製のカバーです。上方向に持ち上げて外すことができます。

※加熱中はセーフティーカバー(特に上面の金属部分)が熱くなりますのでご注意ください。

### ②加熱ブロックカバー

カバーの内側に加熱ブロックが配置されています。

### ③通気口

セーフティーカバー内の熱を外に逃がす通気口です。

### ④送風ファン → 22 ページ

セーフティーカバー内に外気を送り込むための送風ファンです。200mL 用は1つ、1L 用は2つ付いています。

### ⑤送風ファンインジケータ

送風ファン作動時に緑色に点灯します。

### ⑥送風ファンスイッチ

送風ファンの ON-OFF スイッチです。

### ⑦過昇温防止器 → 20 ページ

加熱ブロック用温度調節器とは独立した過昇温防止器です。設定された温度以上になるとヒーターへの通電を遮断します。

### ⑧ヒューズホルダー

過昇温防止器用のヒューズが内蔵されています。

### ⑨過昇温防止器用電源コード

過昇温防止器に電源を供給するための電源コードです。必ずコンセントに接続してご使用ください。

※過昇温防止器の電源コードをコンセントに接続しないとヒーターへ通電されません。

### ⑩DC24V 電源コネクタ

直流 24V を供給するコネクタです。オプション品などを接続します。

### ⑪センサープラグ

有機合成装置本体 Chemi Chemi-300 のセンサーコネクタに接続して使用します。

※本体との接続については、本体に付属の取扱説明書をご参照ください。

### ⑫ヒータープラグ

有機合成装置本体 Chemi Chemi-300 のヒーターコネクタに接続して使用します。

※本体との接続については、本体に付属の取扱説明書をご参照ください。

### ⑬支柱ホルダー（工場出荷時は取り外してあります）

直径 12mm の支柱を取り付けることができるホルダーです。ブロック部の左側面に取り付けることができます。また、台座の側面にも取り付けることができます。

※取り付け方法については、本体に付属の取扱説明書をご参照ください。



# 3 使用方法

## 3-1 準備

### 3-1-1 温度設定範囲の変更

有機合成装置本体 Chemi Chemi-300 は、温度設定範囲の上限が工場出荷時では 200℃になっています。300℃仕様のブロック部に対応するため、温度設定範囲の上限を 320℃に変更します。

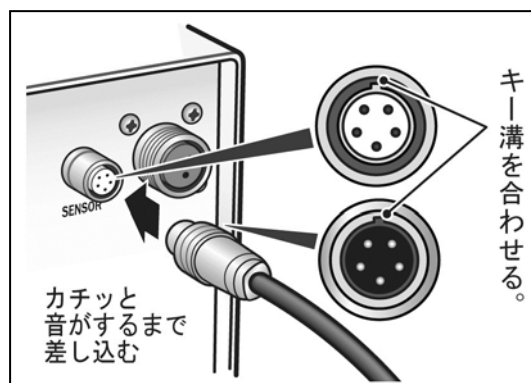
#### <温度設定範囲の変更手順>

 <b>警告</b>	<p>温度設定範囲の上限を 320℃を超える温度に設定しない。</p> <p>本製品の上限温度は 320℃です。320℃を超える温度に設定すると、装置の変形や破損、火災などの原因となることがあります。</p>
 <b>注意</b>	<p>変更が必要なパラメータ以外は変更しない。</p> <p>装置が正常に動作しなくなる場合があります。</p>

①ブロック部のセンサープラグを本体に接続します。

※センサープラグを接続しないと、センサー異常エラーが表示されます。

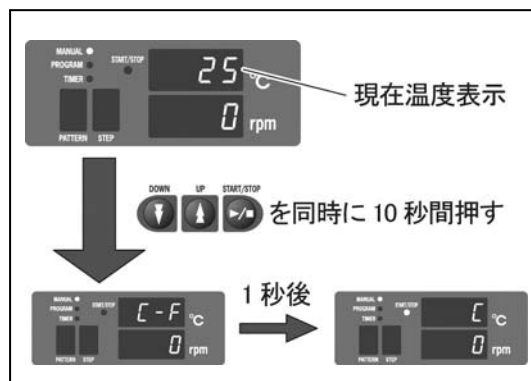
※ヒータープラグを接続する必要はありません。



②本体の電源を ON にし、現在温度が表示されたら、UP キーと DOWN キーと START/STOP キーを同時に 10 秒間押し続けます。

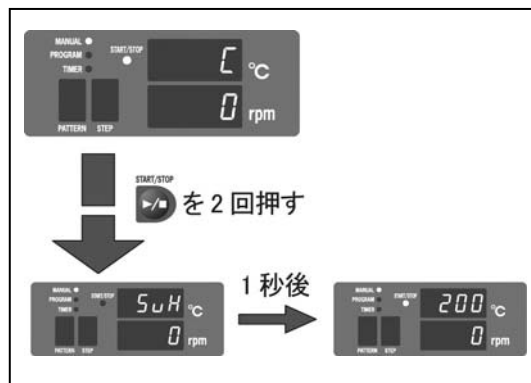
→温度表示部に「C-F」が表示され、1 秒後にパラメータの設定値「C」が表示されます。

※10 秒経過しない間に“ピッ”と音が鳴ったり、表示が変わったりする場合がありますが、そのままキーを押し続けてください。



③START/STOP キーを 2 回押します。

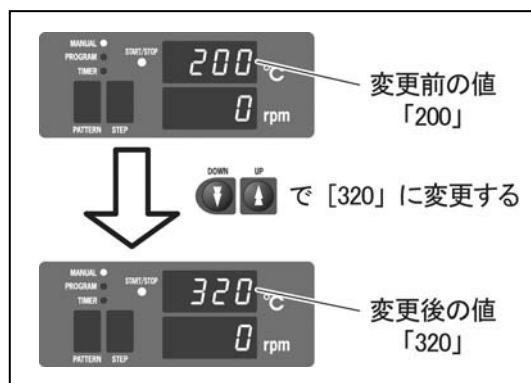
→温度表示部に「SuH」が表示され、1 秒後にパラメータの設定値「200」が表示されます。



④UP キー(必要に応じて DOWN キー)を押して「200」を「320」に変更します。

※UP キー、DOWN キーは押し続けると早く増減します。

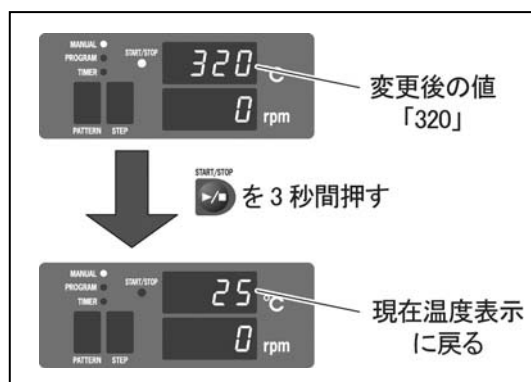
※「320」を超える値に変更しないでください。320°Cを超える温度に加熱すると、場合によっては装置の変形、破損、火災の原因となることがあります。



⑤START/STOP キーを 3 秒以上押し続けます。

→現在温度表示に戻ります。

※3 秒経過しない間に表示が変わりますが、そのままキーを押し続けてください。



以上の操作を行うことで、温度設定範囲の上限が 320°Cになります。

※パラメータを変更した結果、正常に動作しなくなった場合や、手順にないパラメータに変更してしまった可能性がある場合は、当社営業所までお問い合わせください。

## **重要** (必ずお守りください)

上限温度 320℃以外のブロック部を接続するときは、使用するブロック部の上限温度に合わせて、本体の温度設定範囲を変更してご使用ください。

お手持ちの上限温度 320℃以外のブロック部を使う場合や、新たに上限温度 320℃以外のブロック部を購入し、同じ本体に接続して使用する場合は、本体の温度設定範囲をブロック部の上限温度に戻してご使用ください。

### **3-1-2 上下限温度異常警報の変更**

有機合成装置本体 Chemi Chemi-300 は、加熱ブロックの温度が一定の温度以上、または以下になった時に警告ブザーを鳴らすとともに、ディスプレイに「Er1」を表示する機能を備えています。

工場出荷時は、その上限温度が 210℃に設定されていますので、使用する温度に合わせて上限温度を変更してください。

上下限温度異常警報の設定変更については、「有機合成装置本体 Chemi Chemi-300」に付属している取扱説明書の「■各機能」をご参照ください。

### 3-1-3 台座の取り付け



**注意**

ブロック部を有機合成装置本体の上に設置する場合は、必ず台座を取り付ける。

装置や設置場所に衝撃を与えた場合に、転倒する恐れがあります。

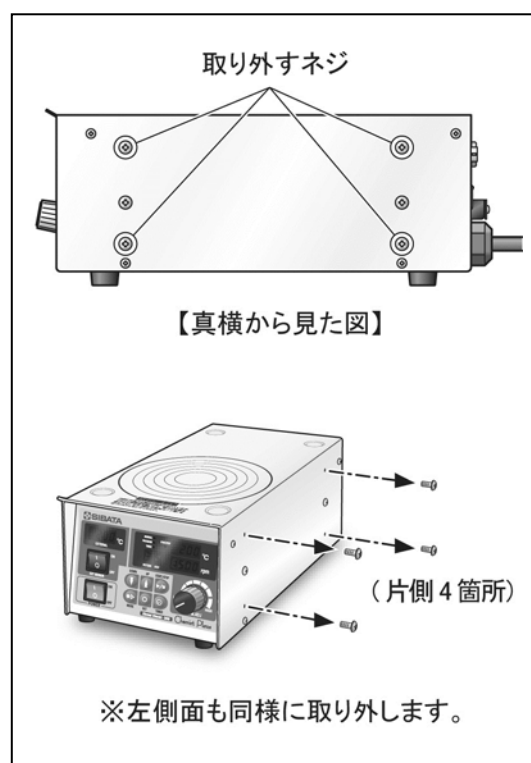
※ブロック部を本体の上に乗せない場合は、台座を取り付ける必要はありません。

#### <台座の取り付け手順>

- ①有機合成装置本体 Chemi Chemi-300 の側面のネジを取り外します。

※プラスドライバー (No. 2) を使用してください。

※プラスチックのワッシャーも一緒に外してください。

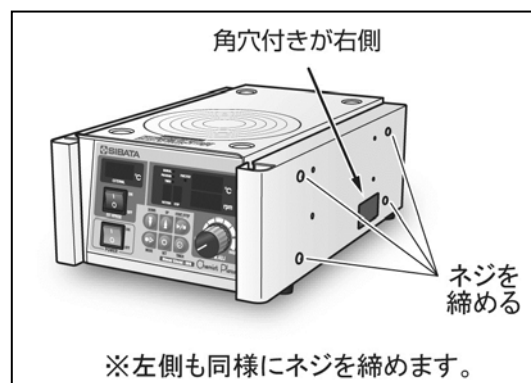


- ②台座についているネジが本体のネジ穴に合うように台座を置き、ネジをドライバーで締め込みます。

※向かって右側に、角穴があいている台座を取り付けてください。

※ドライバーはプラスドライバー (NO. 2) を使用してください。

※台座は平らな場所に取り付けてください。



### 3-1-4 120mL 容器または 500mL 容器を使用する場合

120mL 容器または 500mL 容器を使用する場合は、加熱ブロックにブロックアダプターをセットし、セーフティーカバーおよび加熱ブロックカバーにカバーアダプターを取り付けます。

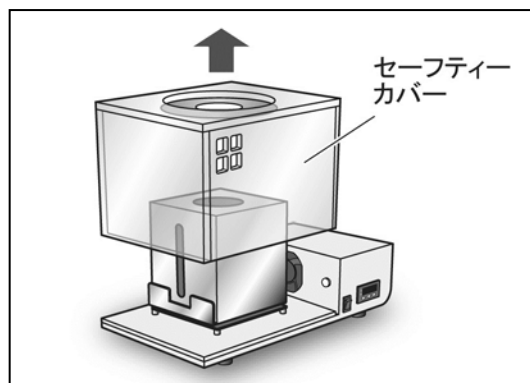


アダプターを取り付ける作業は、必ず加熱ブロックの温度が常温になっていることを確認してからおこなう。

やけどをする恐れがあります。

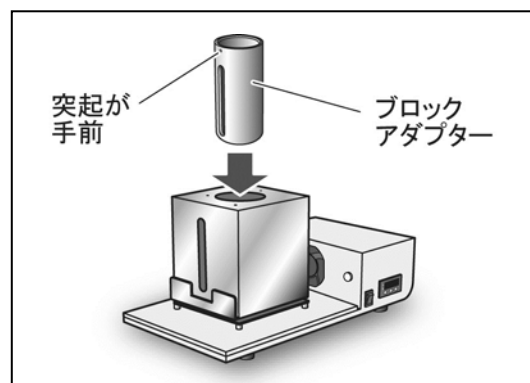
#### <各アダプターの取り付け手順>

①セーフティーカバーを外します。



②ブロックアダプターを加熱ブロックに取り付けます。

※アダプターの突起を加熱ブロックの溝に合わせてください。

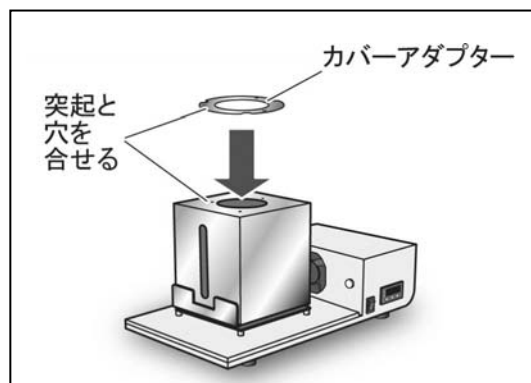




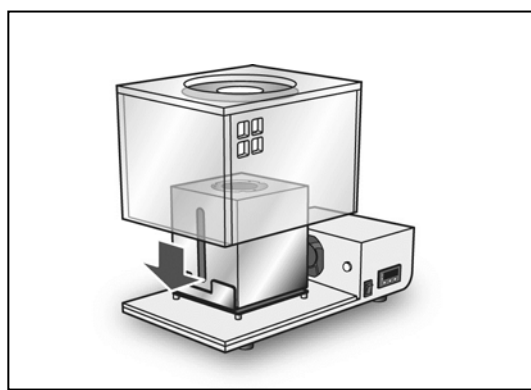
③カバーアダプターを加熱ブロックカバーに取り付けます。

※アダプターの3箇所の突起をカバーの穴に合わせてください。

※カバーアダプターは同じものが2個付属されています。

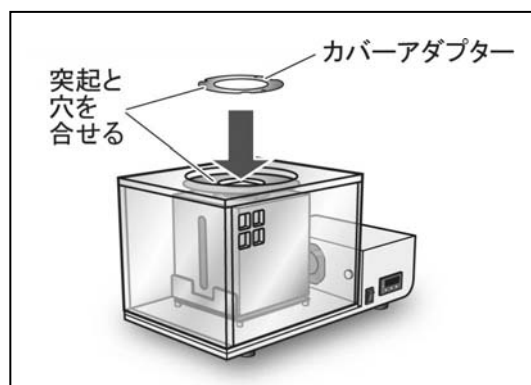


④セーフティーカバーを元に戻します。



⑤もう1個のカバーアダプターをセーフティーカバーに取り付けます。

※アダプターの3箇所の突起をカバーの穴に合わせてください。



### 3-1-5 市販の過昇温防止装置の取り付け

本製品は過昇温防止器を内蔵しているため、本体の上下限温度異常警報機能と合わせて二重の過昇温防止対策が施されていますが、さらに安全性を高めるために、市販の過昇温防止器装置を取り付けることができます。

※過昇温防止装置のセンサーを取り付ける穴の大きさは、直径 4.5mm、深さ 100mm です。この大きさの穴に入るセンサーを搭載した過昇温防止装置を選択してください。

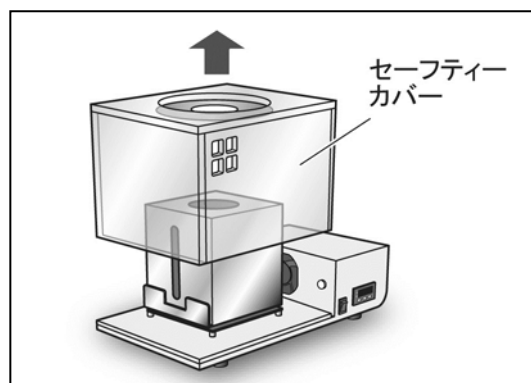


市販の過昇温防止装置のセンサーを取り付ける作業は、必ず加熱ブロックの温度が常温になっていることを確認してからおこなう。

やけどをする恐れがあります。

#### <市販の過昇温防止装置のセンサーの取り付け手順>

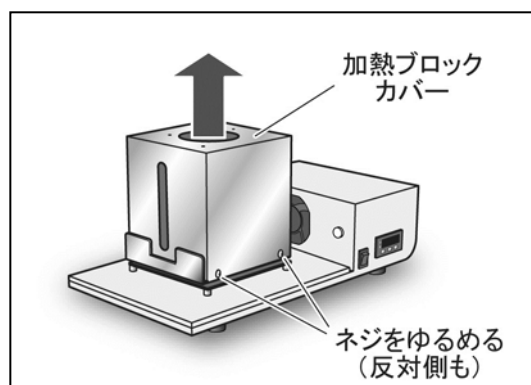
①セーフティーカバーを取り外します。



②図の4箇所のネジをゆるめ、加熱ブロックカバーを取り外します。

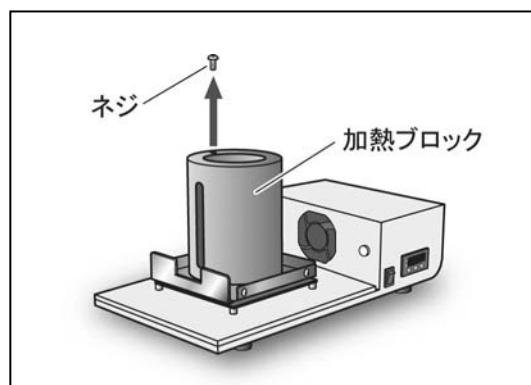
※プラスドライバー (No. 2) を使用してください。

※加熱ブロックカバー内側のガラス板を加熱ブロックにぶつけないように注意してください。



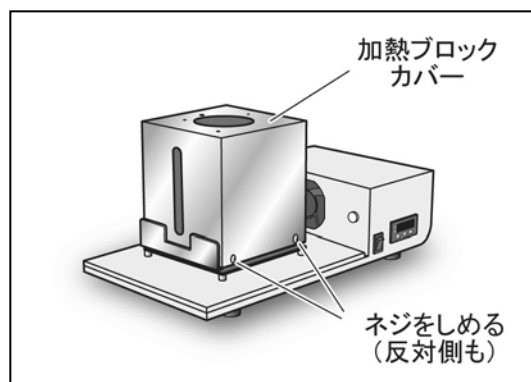
③図のネジを取り外します。

※プラスドライバー(No. 3)を使用してください。  
※No. 3 のプラスドライバーがない場合は、約  
5mm 幅のマイナスドライバーを使用してくだ  
さい。

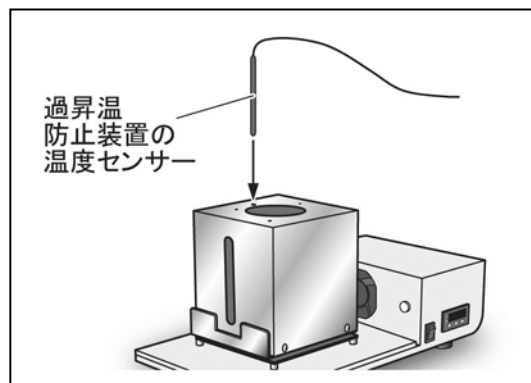


④加熱ブロックカバーを元に戻します。

※加熱ブロックカバー内側のガラス板を加熱ブ  
ロックにぶつけないように注意してください。

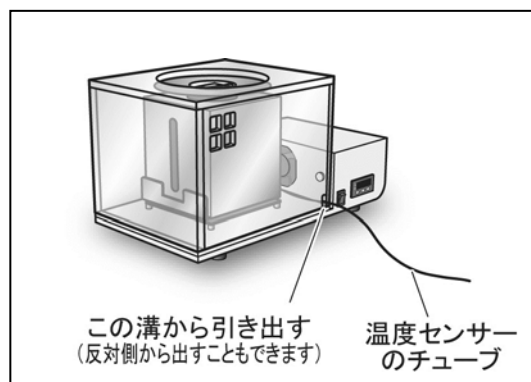


⑤過昇温防止装置のセンサーを加熱ブロックの穴  
に挿入します。




⑥セーフティーカバーを元に戻します。このとき、  
センサーのチューブ部分をセーフティーカバー  
の溝に通しカバーの外に引き出します。

※チューブ部分の曲げ可能半径については、過  
昇温防止装置の取扱説明書でご確認ください。



## 3-2 各機能

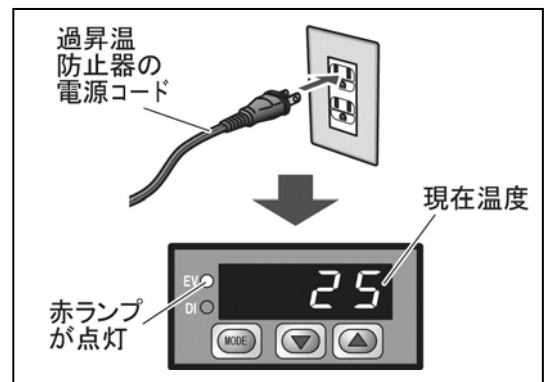
### 3-2-1 過昇温防止器

 <b>警告</b>	<p>過昇温防止器の設定温度を 325°Cを超える温度に変更しない。 装置の破損や故障、火災などを防止するため、過昇温防止器の設定温度を 325°Cを超える温度に変更しないでください。</p>
---	--

#### <過昇温防止器の設定手順>

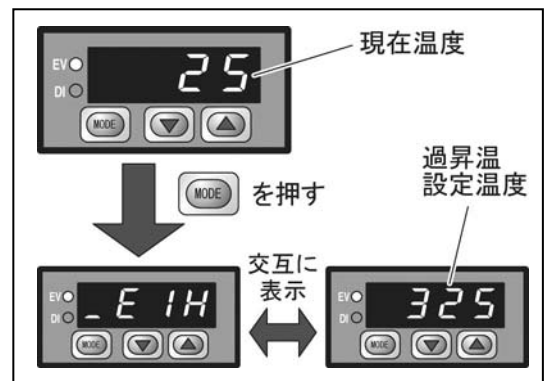
- ①過昇温防止器の電源コードを AC100V コンセントに接続します。

→約 4 秒後に過昇温防止器に加熱ブロックの現在温度が表示され、赤ランプが点灯します。



- ②MODE キーを一度押します。

→「\_EIH」 と過昇温設定温度が交互に表示されます。

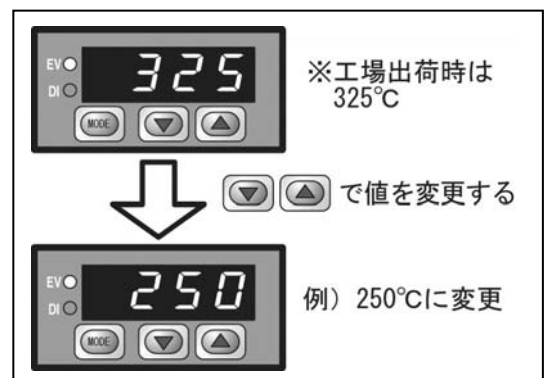


- ③▲▼キーを押して過昇温設定温度を変更します。

※工場出荷時は 325°Cに設定されています。装置の破損や故障、火災などを防止するため、325°Cを超える温度に変更しないでください。

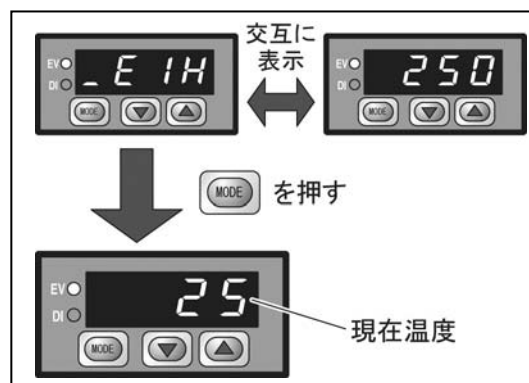
※▲▼キーで値を変更すると即時確定されます。

※▲▼キーは押し続けると早く増減します。



④MODE キーを押します。

→加熱ブロックの現在温度表示に戻ります。



### <過昇温防止器についての補足>

- 必ず過昇温防止器の電源コードをコンセントに接続してご使用ください。過昇温防止器の電源コードをコンセントに接続しなくても有機合成装置本体 Chemi Chemi-300 の温度設定や回転操作は可能ですが、ヒーターに通電されません。
- 有機合成装置本体 Chemi Chemi-300 の表示温度と過昇温防止器の表示温度に差が生じる場合がありますが異常ではありません。異なる種類の温度センサーを使用しているため、同じ値にならないことがあります。

### <過昇温防止器が作動すると>

加熱ブロックの温度が、過昇温設定温度以上に上昇すると、過昇温防止器のランプが消灯し、ヒーターへの通電を遮断します。  
過昇温防止器をリセットするには、過昇温防止器の電源コードを抜いて、再びコンセントに差し込んでください。

※温度が下がっても自動復帰はしません。

※過昇温防止器が作動した原因がわからない場合は修理をご依頼ください。



### 3-2-2 送風ファン

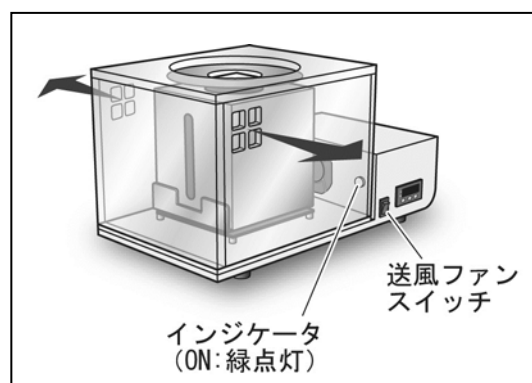
本製品は、加熱運転終了後にセーフティーカバー内の熱を排気するための送風ファンを搭載しています。

加熱ブロックや反応容器の温度を早く下げたい場合など、必要に応じて送風ファンを運転してください。

※送風ファンのスイッチを ON にすると、送風ファンが作動し、インジケータが緑色に点灯します。

※送風ファン運転時は、セーフティーカバーの側面の通気口から高温の排気が出ますのでご注意ください。

※側面の通気口はふさがらないでください。



### 3-3 運転



運転中や運転終了後ブロック部が熱い時に、通気口に指を入れない。

やけどをする恐れがあります。

#### 3-3-1 操作方法

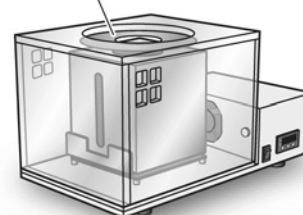
本体の操作方法については、有機合成装置本体 Chemi Chemi-300 の取扱説明書の「使用方法」をご参照ください。

#### 3-3-2 使用時の注意事項

- ご使用前にガラス容器に傷やヒビが入っていないことを確認してください。また、ガラス容器を加熱ブロックにセットする際はゆっくりと丁寧に扱い、ガラス容器がブロックの底に当たってから手を離してください。底に当たる前に手を離すとガラス容器が破損する恐れがあります。
- 運転中、および運転終了直後は各部が非常に熱くなっていますので、装置を持ち上げたり移動させたりしないでください。思わぬケガや事故につながる恐れがあります。
- 運転中はセーフティーカバー全体が熱くなりますので、やけどに注意してください。特に、上面の金属(ステンレス)部分は高温になりますので、手を触れないでください。

#### 【特に高温になる部分】

金属部分



- セーフティーカバーの上に物を置いたり、セーフティカバーを覆ったりしないでください。装置の変形や故障、火災の原因となる場合があります。
- 通気口はふさがないでください。通気口をふさぐと装置の変形や故障の原因となる場合があります。
- 送風ファンを回していなくても、運転中は側面の通気口付近が熱くなります。通気口付近に熱に弱いものを置かないでください。
- 運転中は筐体の底面が熱くなります。熱に弱い素材の実験台や作業台の上に設置しないでください。

## 4 故障かな？と思ったら

ご使用中に異常が発生したら、すみやかに使用を中止してください。場合によっては、異常の原因が故障以外であることもあります。修理をご依頼になる前に、以下の点についてご確認ください。異常の原因が故障のときは修理をご依頼ください。

### ■故障ではない場合

症 状	原 因	処 置
加熱ブロックが設定温度まで温まらない。	過昇温防止器の電源コードがコンセントに接続されていない。	過昇温防止器の電源コードをコンセントに接続してください。 <a href="#">→ 20 ページ</a>
	過昇温防止器の設定温度が、加熱ブロックの設定温度より低く設定されているため、過昇温防止器が作動した。	過昇温防止器の設定温度を適切な温度に設定してください。 <a href="#">→ 20 ページ</a>
本体に「Er1」が表示され、過熱ブロックが温まらない。	本体の「上下限温度警報」の設定を変更していない。	本体の「上下限温度警報」の設定を任意の値に変更してください。 <a href="#">→ 14 ページ</a>
設定温度が 200°C までしか設定できない。	本体の温度設定範囲を変更していない。	本体の温度設定範囲を 320°C に変更してください。 <a href="#">→ 12 ページ</a>
セーフティーカバー側面の通気口から熱い風が吹き出してくる。	送風ファンが作動している。	送風ファンを作動させると、通気口から熱い風が吹き出します。 <a href="#">→ 22 ページ</a>
加熱運転時や送風ファンを ON にしたときに、ブロック部からチリチリ（パキパキ）と音がする。	金属が膨張収縮する際の音です。	そのままご使用ください。



## 5 主な仕様

品目コード	054300-3500		054300-3510	
品名	200mL ブロック部 300°C仕様 CP-300 用		1L ブロック部 300°C仕様 CP-300 用	
ブロック部の上限温度	320°C			
合成容量	120mL <sup>※1</sup> 、200mL		500mL <sup>※2</sup> 、1L	
使用周囲温度範囲	5~35°C			
セット可能反応容器数	1 本			
温度制御可能範囲 <sup>※3</sup>	室温+10°C~320°C			
温度センサー	白金測温抵抗体			
ヒーター容量	600W		920W	
保護機能	過昇温防止器(センサー：K熱電対、設定温度：任意(初期値 325°C))、 過昇温防止器用ヒューズ(AC125V-1A(φ5.2×20mm B種普通溶断型))			
電源	ブロック部	AC100V 50/60Hz 6A (専用コネクタにより本体に接続)		AC100V 50/60Hz 9.2A (専用コネクタにより本体に接続)
	過昇温防止器	AC100V 50/60Hz 0.02A		
外寸法 <sup>※4</sup>	本体	160(W)×300(D)×124(H)mm		
	ブロック部	210(W)×390(D)×205(H)mm	270(W)×450(D)×234(H)mm	
	本体にブロック部を重ねたとき	210(W)×390(D)×324(H)mm	270(W)×450(D)×344(H)mm	
質量	ブロック部	120mL：約 8.3kg <sup>※5</sup> 200mL：約 7.9kg	500mL：約 14.5kg <sup>※6</sup> 1L：約 12.5kg	
	本体	約 5.1kg		
	本体にブロック部を重ねたとき	120mL：約 14.0kg <sup>※7</sup> 200mL：約 13.6kg <sup>※7</sup>	500mL：約 20.5kg <sup>※8</sup> 1L：約 18.5kg <sup>※8</sup>	

※1 120mL 容器を使用するには、加熱ブロックアダプター300°C仕様 120mL 用 (054310-3300)が必要です。

※2 500mL 容器を使用するには、加熱ブロックアダプター300°C仕様 500mL 用 (054310-3310)が必要です。

※3 実際に温度コントロールができる加熱ブロックの温度範囲です。反応容器内の温度ではありません。  
320°Cまで設定できるようにするには、本体のパラメータの変更が必要です。 **→ 12 ページ**

※4 突起物は含みません。

※5 加熱ブロックアダプター300°C仕様 120mL 用の質量(約 0.4kg)を含みます。

※6 加熱ブロックアダプター300°C仕様 500mL 用の質量(約 2.0kg)を含みます。

※7 台座の質量(約 0.6kg)を含みます。

※8 台座の質量(約 0.9kg)を含みます。

## 6 オプション品と関連製品

	分類	品名	品目コード
1	オプション品	延長ケーブル 1.5m セット	054310-3002
2		LED ライト ケミケミ 300 用	054310-3003
3	セパラブル フラスコ	120mL セパラブル反応容器Oタイプ	054330-1120
4		200mL セパラブル反応容器Oタイプ	054330-1200
5		500mL セパラブル反応容器Oタイプ	054330-1500
6		1L セパラブル反応容器Oタイプ	054330-1600
7	セパラブル カバー	φ47 セパカバースターラー用三口Oタイプ	054330-2100
8		φ56 セパカバースターラー用四口Oタイプ	054330-2200
9		φ86 セパカカバー五口Oタイプ	054330-2300
10		φ116 セパカカバー五口Oタイプ	054330-2400
11	Oリング ※ (300°C仕様)	Oリング パーフロ 300°C仕様 φ47 用 G-55	054330-3601
12		Oリング パーフロ 300°C仕様 φ56 用 G-65	054330-3602
13		Oリング パーフロ 300°C仕様 φ86 用 G-95	054330-3603
14		Oリング パーフロ 300°C仕様 φ116 用 G-130	054330-3604
15	セパフラ用 バンド	セパラブル 47mm 用バンド	054330-4100
16		セパラブル 56mm 用バンド	054330-4200
17		セパフラ 85mm 用バンド	005930-85
18		セパフラ 120mm 用バンド	005930-120
19	ガラス 関連製品	リービッヒ冷却管 SPC15 GL14 型	054330-5100
20		半月ロート SPC15	054330-5200
21		50mL 滴下容器	054330-5300

※300°C仕様で使う場合は、必ずご用意ください。

## 7 保証書と修理について

---

### 7-1 保証書について

本製品には保証書を同梱しています。ご購入時に記載内容をご確認のうえ、所定事項をご記入ください。保証期間はご購入日より1年間です。保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

### 7-2 保証期間内の修理は

保証期間内の修理は、保証書の記載内容にもとづいて修理いたします。詳しくは記載内容をご確認のうえ、お買い上げ販売店、または当社営業所にご相談ください。修理を依頼されるときは、製品に必ず保証書を添付してください。保証対象であっても、保証書がないと有償修理になります。

次の故障内容の場合、保証書の有無にかかわらず保証対象外となります。

- 使用方法の誤りによる故障および損傷
- 当社以外での修理・改造による故障および損傷
- 火災・地震・天災などの不可抗力による故障および損傷
- お買い上げ後の転送・移動・落下・振動などによる故障および損傷
- 当社指定以外の消耗品類に起因する故障および損傷
- 保証書にご購入店のお買い上げ日の記入、捺印がない場合。または記載事項を訂正された場合

### 7-3 保証期間終了後の修理は

保証期間終了後の修理については、お買い上げ販売店、または当社営業所にご相談ください。修理によって機能が維持でき、補修部品の確保が可能な場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

## 8 お問い合わせは

---

本製品につきまして、ご不明な点、ご用命などがございましたら、お手数ですが、お買い上げ販売店、または当社営業所までお問い合わせください。



SIBATA SCIENTIFIC TECHNOLOGY LTD.

**柴田科学株式会社**

本 社 〒340-0005 埼玉県草加市中根 1-1-62  
東京営業所 ☎03-3822-2111 福岡営業所 ☎092-433-1207  
大阪営業所 ☎06-6356-8131 仙台営業所 ☎022-207-3750  
名古屋営業所 ☎052-263-9310

<http://www.sibata.co.jp/>

カスタマーサポートセンター（製品の技術的サポート専用）



0120-228-766 FAX : 048-933-1590

フリーダイヤル